



**2013年6月期通期決算説明会資料**  
**株式会社ブロードバンドタワー**  
**2013年8月7日（水）**

# 2013年6月期 通期連結決算ハイライト

連結売上高 **23,528 百万円** (前期比 +7,717百万円、+48.8%)

(※公表値：22,900百万円)

連結営業利益 **986 百万円** (前期比 +558百万円、+130.5%)

(※公表値：860百万円)

連結経常利益 **845 百万円** (前期比 +435百万円、+106.1%)

(※公表値：720百万円)

連結当期純利益 **293 百万円** (前期比 +281百万円、+2470.8%)

(※公表値：200百万円)

**BBFの規模拡大、ブランチ・アウト社の連結子会社により、大幅増収増益**

## <ブロードバンドタワーについて>

米国ハワイ州のデータセンター事業者であるDR Fortress, LLCと戦略的  
事業提携契約を締結

⇒企業においてニーズが増している日本国外へのディザスタリカバリや、グローバル  
展開を検討・実施している企業のインフラ構築・運用ニーズに応える。



### <株式分割>

当社株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的として、平成25年4月1日を効力発生日  
として普通株式1株につき500株の株式分割を実施。

### <増配>

平成25年6月期中間配当として、1株につき0.5円（当初0円）、期末配当として1円、年間で1.5円の  
配当を実施。

### <株主優待>

定時株主総会終了後に当社連結子会社のBBF社が取引するファッションブランドを優先的に優待価格  
にてご購入できるファッションセールを開催し、株主様をご招待する制度を新設。

## <ブロードバンドタワーについて>

### <ビッグデータ解析基盤の開発>

ビッグデータ市場の拡大や当社が設立したビッグデータ総合研究所の活動結果を受け、ビッグデータの保存・蓄積に定評のあるストレージ

「Isilon」とオープンソース「Hadoop（ハドゥープ）」の実装について、一定の成果を得る。これにより、「ISILON」を導入する企業はビッグデータ解析プラットフォームの構築が容易となる。



### <プライベートクラウドサービス開始>

ITコア社より、仮想化クラウドホスティング事業（日本最初のVMwareベースの商用化ホスティングサービス）を譲受を決議。

当社はITコア社の保有する顧客基盤を引継ぐとともに、効率的なVmwareベースのクラウド運用を構築することが可能となる。

当該サービスの開始後は、クラウドサービスの運用体制の強化を図り、仮想化クラウドサービス分野においてより一層付加価値の高いサービスを顧客に対して提供していく。



## <ビービーエフグループについて>

### <ランチ・アウト社を完全子会社化>

BBFは、株式会社しまむらを中心とする大手小売店に対して、衣料品の企画・販売・デザイン・生産管理まで一環して行うランチ・アウトを完全子会社化。これにより、ファッション業界のバリューチェーンにおいてBBFが保有していない商品企画・販促プロモーション機能を補い、業界内の様々なプレーヤーに対して一貫した機能提供が可能となる。



### <中国子会社設立>

BBFは、平成25年4月に中国子会社設立に関する決議を実施。今後、当該子会社を中心に成長著しいマーケットとしての中国国内において、消費者の繊細な動向を直接把握できる環境を構築するとともに、BBF及びランチ・アウトが日本で培った事業ノウハウを現地で直接展開する。



# 2013年6月期 通期業績概況（連結）

(単位：百万円)	2012年6月期	2013年6月期	前期比		
			金額	増減率	
売上高	15,811	23,528	7,717	48.8%	・ BBFの成長（ファッションEC事業） ・ ブランチ・アウトの連結子会社化
売上原価	13,777	19,451	5,673	41.2%	
売上総利益	2,033	4,076	2,043	100.5%	・ BBF、ブランチ・アウトの売上高拡大
(利益率)	12.9%	17.3%			
販管費	1,605	3,090	1,484	92.5%	・ BBF、ブランチ・アウトの売上高拡大
営業利益	427	986	558	130.5%	・ ブランチ・アウトの完全子会社化に伴うのれん代償却（165M）
(利益率)	2.7%	4.2%			
経常利益	410	845	435	106.1%	・ ブランチ・アウトの完全子会社化に伴うアドバイザー手数料（営業外費用）、借入金の利払い等
(利益率)	2.6%	3.6%			
当期純利益	11	293	281	2470.8%	米Morph社の投資有価証券評価損（83M）
(利益率)	0.1%	1.2%			

# 2013年6月期 通期業績概況（個別）

(単位：百万円)	2012年6月期	2013年6月期	前期比	
			金額	増減率
売上高	8,268	8,342	73	0.9%
売上原価	7,024	6,877	▲147	▲2.1%
売上総利益	1,244	1,465	220	17.7%
(利益率)	15.1%	17.6%		
販管費	1,004	1,043	39	3.9%
営業利益	240	422	181	75.3%
(利益率)	2.9%	5.1%		
経常利益	224	416	192	85.6%
(利益率)	2.7%	5.0%		
当期純利益	▲51	174	226	—
(利益率)	—	2.1%		

・一部データセンターにおいて、運用の効率化を図ることで、電気代・保守費が減少

・米Morph社の投資有価証券評価損 (83M)



# 2013年6月期 通期要約BS・CF (連結)

(単位:百万円)	2012/6	2013/6		2012/6	2013/6
流動資産合計	4,813	7,530	流動負債合計	2,228	3,754
現金及び預金	2,650	2,913	買掛金	1,366	2,133
受取手形・売掛金	1,573	2,747	1年内長期借入金	405	525
有価証券	—	999	未払法人税	16	342
商品及び製品	306	556	その他	441	754
繰延税金資産	58	112	固定負債合計	616	2,182
その他	226	204	長期借入金	—	1,475
貸倒引当金	△2	△2	その他	616	707
固定資産合計	3,461	4,170	負債合計	2,845	5,937
有形固定資産	1,665	1,522	株主資本合計	5,100	5,334
無形固定資産	162	1,142	その他包括利益 累計額	△4	0
投資その他の資産	1,633	1,505	新株予約権	18	29
			少数株主持分	314	399
			純資産合計	5,429	5,764
資産合計	8,275	11,701	負債純資産合計	8,275	11,701

(単位:百万円)	2012年6月期	2013年6月期
営業活動CF	570	1,331
投資活動CF	△514	△827
財務活動CF	△454	683
現金及び現金同等物の期末残高	2,650	3,838

## 【キャッシュ・フロー内訳】

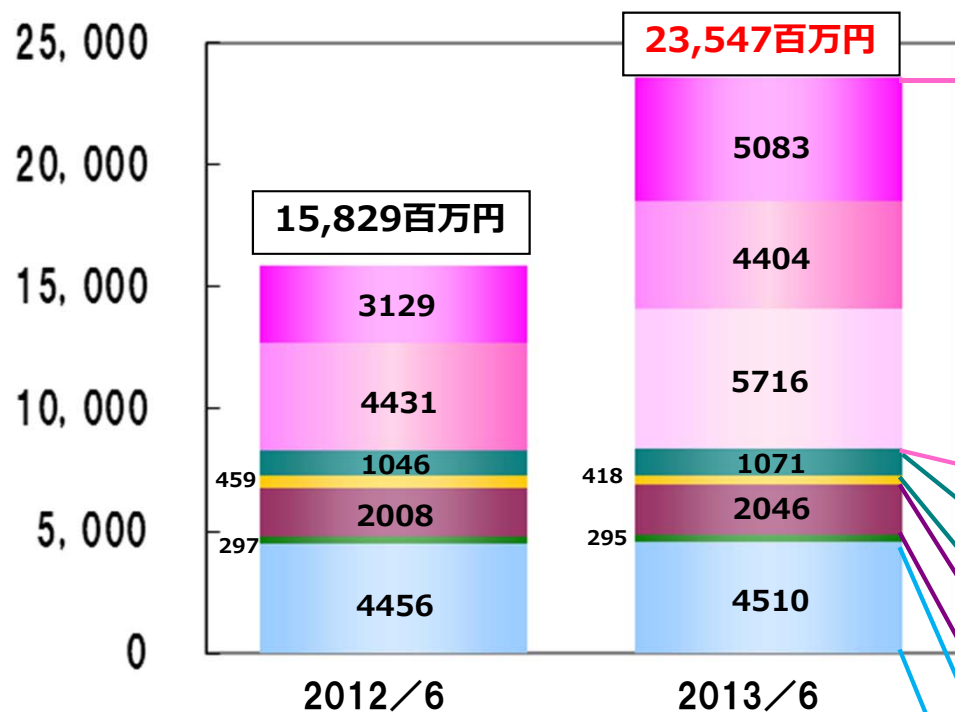
- 営業活動によるキャッシュ・フロー
  - 税金等調整前当期純利益 753百万円
  - 減価償却費 387百万円
  - のれん償却額 165百万円
  - 売上債権の増加 △186百万円
  - 法人税等の支払額 △142百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
  - 定期預金の払戻による収入 597百万円
  - 連結の範囲の変更を伴う  
子会社株式の取得 △1,127百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
  - 長期借入による収入 2,300百万円
  - 長期借入金の返済 △1,550百万円

連結子会社ビービーエフの拡大、ブランチ・アウトの  
連結子会社化に伴い、各費目において増加



# 当社セグメントにおけるサービス内容別売上（通期）

※売上高は内部振替調整前の数値にて表記



**<ファッションビジネスプラットフォーム +7,645百万円>**  
 EC：増収（+1,954百万円）  
 ⇒既存有名ブランドのサイト売上拡大及び新規ブランド獲得により、順調に増加。（直近におけるサイト数：77サイト）  
 TV：微減（▲27百万円）  
 ⇒QVCを中心とする国内販売は引き続き拡大。一方、海外販売（台湾）は減少。  
 ファッションホールセール：新たに追加（5,716百万円）  
 ⇒主要取引先である「しまむら」に対する売上が順調に推移。

**<プロダクト +25百万円>**  
 新規顧客の獲得により増加。（通信業、製造業、官公庁等）

**<運用受託 +38百万円>**  
 運用ラック数の増加による。

**<コロケーション +54百万円>**  
 西梅田サイトの稼働率向上に伴う増加（+65百万円）  
 電気料金等の見直しに伴い、当社の売上高に影響。

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>&lt;事業セグメント&gt;</b>     | <b>&lt;サービス内容&gt;</b>  |
| ファッション<br>ビジネス<br>プラットフォーム | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ECシステム構築支援・運用</li> <li>■ TVショッピング支援</li> <li>■ ファッションホールセール（新設）</li> </ul>                        |
| コンピュータ<br>プラットフォーム         | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクト</li> <li>■ アプリケーションプラットフォーム</li> <li>■ 運用受託</li> <li>■ ネットワーク</li> <li>■ コロケーション</li> </ul> |

## 今後の基本方針

**2014年6月期は新事業構想に基づく中長期計画の初年度として  
成長基調に乗せるための先行投資年度と位置付ける！**

## 【連 結】

売上高	25,000	百万円	(前期比 : +6.3%)
営業利益	640	百万円	(前期比 : ▲35.1%)
経常利益	640	百万円	(前期比 : ▲24.3%)
当期純利益	240	百万円	(前期比 : ▲18.1%)

## 【個 別】

売上高	8,200	百万円	(前期比 : ▲1.7%)
経常利益	230	百万円	(前期比 : ▲44.8%)
当期純利益	140	百万円	(前期比 : ▲20.0%)

※決算短信記載のフォーマットに合わせた形のため、営業利益は非開示

### <コンピュータプラットフォーム事業>

平成26年6月期中に当社が提供するサービスの一部を既存顧客が解約することに伴い、売上高は減少する見込み。次期以降の成長基調に繋がる既存事業の拡大及び新規事業立ち上げに伴う先行投資等の発生に伴い、利益も減少する見込み。

### <ファッションビジネスプラットフォーム>

ブランチ・アウトが行うファッションホールセールサービスは期初より売上高に貢献するものの、BBFが行うECシステム構築支援・運営サービスは、既存取引先の顧客都合による解約が発生する見込み。また、アジアを中心とする海外進出への布石となる先行投資等を引き続き行う予定。

**このような状況を踏まえ、当社グループとしては、第2創業期の基本方針である  
「既存事業の強化・拡大」及び「新規事業の創出」に向けた活動を行っていく。**

インターネットデータセンター事業環境の変化  
すなわち  
クラウド化、インターネットと他産業との融合に対応

①既存データセンター事業の効率向上

②新データセンター事業モデルの立案と実行

③スマートコンバージェンス事業（インターネットと他産業事業の融合）の立案と実行

④グループ全体での海外事業比率の向上

## ① – I 既存データセンター事業の効率向上

# 都心地域連携型データセンターの提案

- ・ サーバ管理はリモートで行うため、都心のデータセンターにサーバを置く必要がない。
- ・ 地方であっても東京郊外並のネットワーク速度
- ・ 危機管理の観点から東西への分散



企業のコアとなるコンピュータ・データは大手町を中心とする都心へ。

使用頻度の低い大量のコンピュータ・データは **地方** へ

②新データセンター事業モデルの立案・実行へつづく・・・

本年8月に株式会社ITコアより仮想化クラウドホスティング事業（GrowServer）※を譲受。

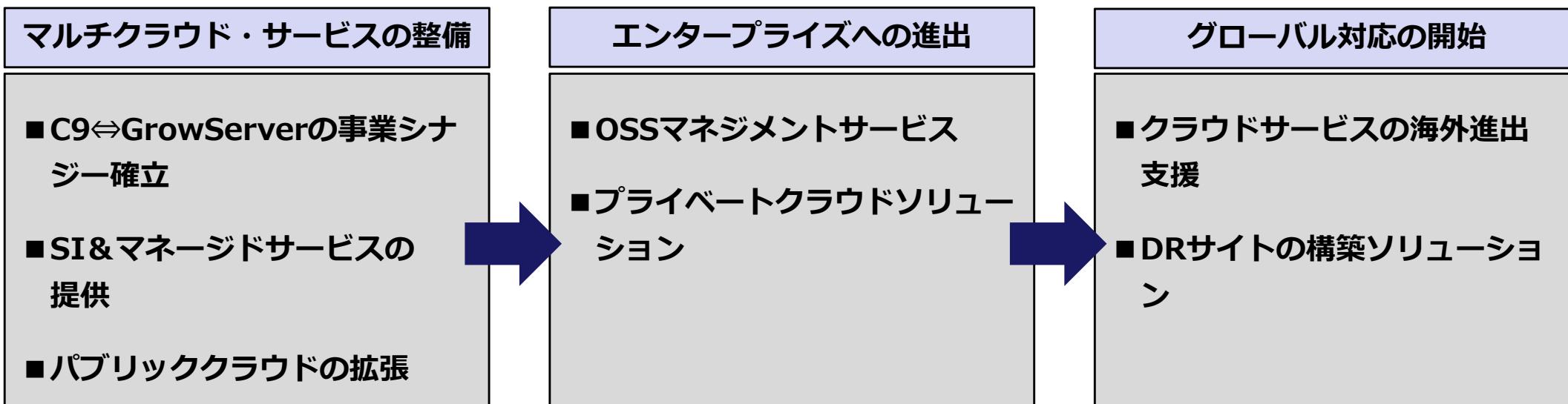
※日本最初のVMwareベースの商用化ホスティングサービス

当社の主力サービスであるコロケーションサービスに加えて、クラウドサービスの強化施策として、c9サービス（クラウドサービス名称）の運用体制の強化を図り、仮想化クラウドサービス分野においてより一層付加価値の高いサービスを顧客に対して提供。

【 譲渡会社の概要 】

商	号	株式会社ITコア
資	本	金 7,085万円
事	業	内容 仮想化クラウドホスティング事業、ASPサービス事業 Webインテグレーション事業
譲受事業の売上規模		約1億9,000万円（平成24年9月期）

## マルチクラウド・インテグレーションによるエンタープライズ市場開拓



**市場を逐次分析しながら新たなトレンドを発掘し即時対応を実施**



### ブロードバンドタワー創業時のビジネスモデル 「都市型データセンター」

#### ➤ Anywhere Datacenter

【利便性を重視して既存データセンターでの運用展開】

- ・ 都市部のアクセス環境（駆けつけ・NW環境）の良いロケーション
- ・ 仕様 ⇒ サービス仕様に合った場所を探し、即サービス
- ・ 設備仕様 ⇒ 既存設備を前提に創る

#### ➤ Non-Asset

【大規模インフラ（設備）は「持たない」】

### ブロードバンドタワーが行う データセンター事業の現状

**当社データセンターの全体稼働率は90%の状態。**

- ⇒ サービスフル稼働中での新規設備導入は困難
- ⇒ 新規設備投資競争への参入は見合わせ
- ⇒ 施策は既存サービスの運用効率の向上策

## ブロードバンドタワーの次世代データセンター戦略



Y!



IDC Frontier

×



BroadBandTower, Inc.

「DCの常識を変える」

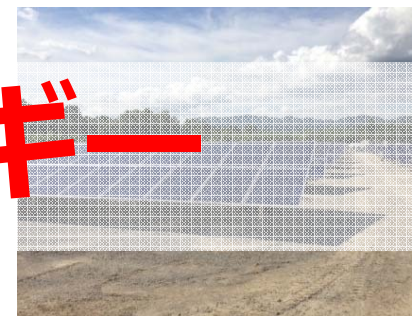
### 山口県防府市において太陽光発電事業を開始

東日本大震災以降、エネルギーや都市・インフラのあり方が変わり始めた。  
同時に、エネルギーがITと繋がり、私たちのライフスタイルを大きく変えるスマート・エネルギー社会が誕生。

このような背景から、当社ではこれまで培ってきた技術や知見がエネルギー分野にも活用できると考え、スマート・エネルギー事業（太陽光発電所）を開始。



**IT × エネルギー**



# 決済事業への参入

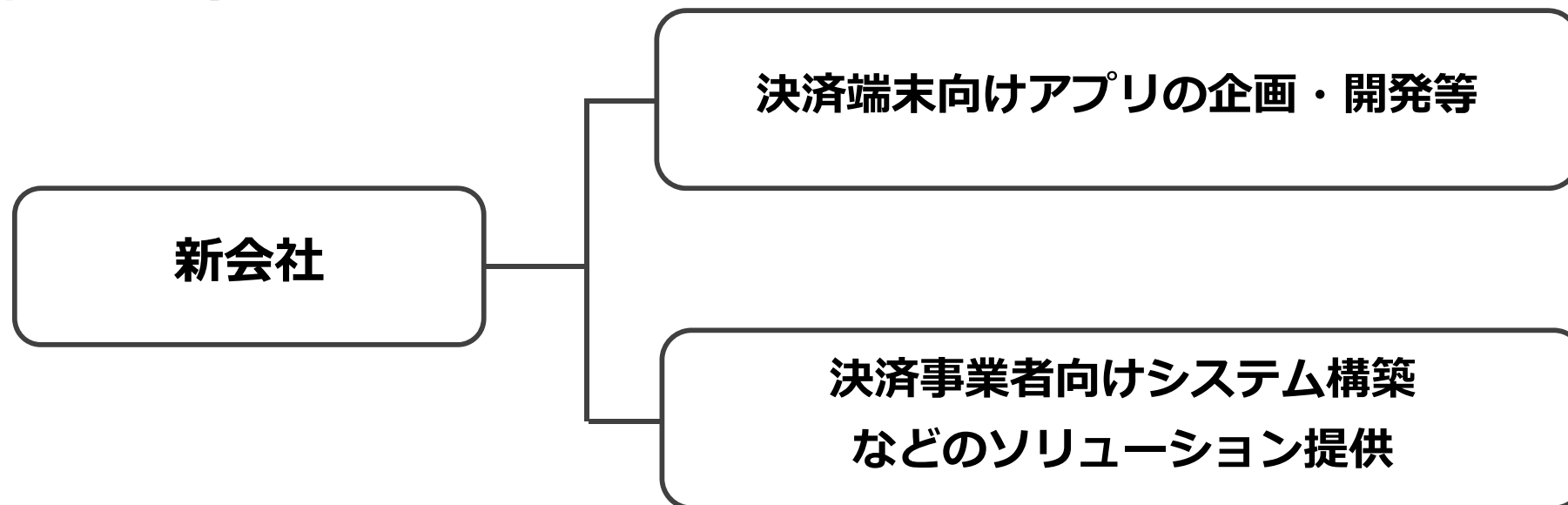
### (参入の背景)

EC市場の急成長やスマートフォンの普及に伴い、決済ソリューションも多種多様化している。データセンター事業、クラウド事業の提供を行っている当社として、決済市場の更なる拡大を見越して、決済ビジネス向けのデバイス、アプリケーションやシステム開発等のソリューション提供を行う子会社を設立。

### 【新会社の概要】

商	号	株式会社Lyudia
資	本	金 5,000万円
事	業	内 容 決済端末機器・決済システム向けにアプリケーションなど ソリューションの企画・開発・販売
出	資	比 率 当社100%

### ◆新会社の事業概要



**今後大きく成長が見込まれるEコマース決済やモバイル決済  
の分野において決済インフラサービスを提供。**

## ④ – I グループ全体での海外事業比率の向上

ITのみならず多くの日本企業の海外展開は戦略上必要不可欠な要素となり、今まで以上にグローバル展開を検討している企業のITインフラ構築や運用ニーズが高まりを見せている。

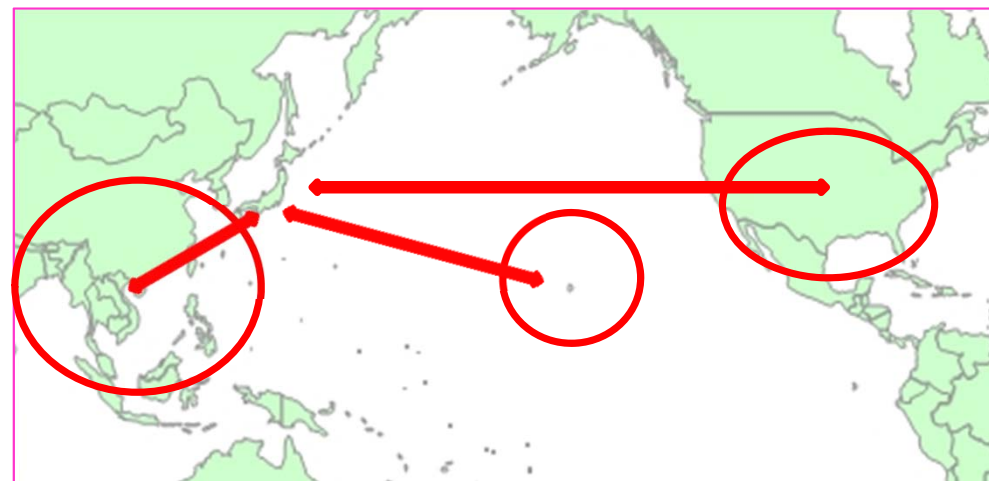
取扱いデータ量の増加と効率的で戦略的なITストラテジー需要が予測される中、当社は顧客に最適なクラウド環境を提供し、iDC・クラウドサービス事業のグローバル展開を積極的に推進。

### ハワイDRFortressデータセンター

- ハワイ唯一のTier 3レベルDC
- コロケーション/ホスティングサービスを提供
- DRF Cloudサービスを提供
- DRF Storageサービスを提供
- DRF Xchange(IXサービス)

### アジア

- クラウド・ネットワークプラットフォームの構築コンサルティングサービスを提供
- CloudStackのインストールと構築



### ヨーロッパ・アメリカ

- 2015年までに5つのdistributorビジネスを構築(現在EMC他)
- 海底ケーブル保守サービスを提供



(参考例は日本語版)



www.drfortress.com

**DRFORTRESS** 

米国のFortune誌にランキングされる  
世界有数の企業を顧客として有している、  
ハワイ州唯一のTier3レベル、  
**SSAE16 Type2 (SAS70) 準拠データセンター。**  
日本国外へのDisaster Recovery (ディザスタリカバリ)や、  
グローバル展開を検討・実施している企業の  
インフラ構築・運用ニーズに応えます。  
また各種クラウドサービスも提供しています。


サービスのお問い合わせは

<p><b>DR Fortress, LLC</b> 所在地：米国ハワイ州ホノルル市 代表者：President Fred Rodi (フレッド ロディ) 設立：2006年(平成18年)9月 TEL：1-808-528-7500 (Main) TEL：1-808-528-7519 (日本語) E-mail：sales@drfortress.com URL：http://www.drfortress.com/</p>	<p><b>株式会社 ブロードバンドタワー DC営業部</b> 所在地：〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル7F TEL：03-5202-4811 E-mail：sales-dept-dc@bttower.co.jp URL：http://www.bttower.co.jp</p>
---	--

※DR Fortress, LLC とブロードバンドタワーは2012年に提携的業務提携契約を締結いたしました。

## ④ - II グループ全体での海外事業比率の向上

### 連結子会社 B B F、中国上海市に完全子会社を設立



中国では一部景気の減速懸念も語られる一方、巨大な人口と購買力の上昇を背景にしたマーケットとしての存在感は、今後益々重要性を増してくるものと見込まれている。このような環境のなか、B B Fは中国に完全子会社を設立し、成長著しいマーケットとしての中国国内において、消費者の繊細な動向を直接把握できる環境を構築するとともに、B B F及びブランチ・アウトが日本で培った事業ノウハウを現地で直接展開することにより、事業の拡大を目指す。

# 人民日報

海外版

7  
Jul. 2013  
日刊  
毎月25日発行

PEOPLE'S DAILY OVERSEAS EDITION JAPAN MONTHLY

特集 食の安全

食品安全犯罪は赦免しない

中国経済の焦点

中国経済の減速をどう見るか

中国の社会情勢

中国の飲料水は安全か

華人企業家インタビュー

“月光族”が“人脈長者”に

劉炳義 日本テピア株式会社代表取締役社長

環境に適応し、勢いに乗じてことを為す

叶新華 先端技研株式会社代表取締役

◎インタビュー  
株式会社ブロードバンドタワー  
代表取締役兼兼業社長CEO  
藤原洋



編集長  
インタビュー



(人民日報海外版)